

二年	国語	Gアップシート	読む2
----	----	---------	-----

組	番・氏名
---	------

★自分が共感できる物語を読み、感想を交流しよう

◇和田さんの学級では「自分が共感できる本を読み、自分の経験と関連させながら感想をまとめよう」というテーマで各自で選んだ物語を読み、感想を交流することになった。そこで和田さんは次の作品を読んで、感想をまとめることにした。

【ここまでのあらすじ】

中学三年生の主人公は、部活を引退して高校受験に備えなければならぬ時期にさしかかっていたが、目標が見つからずなかなか勉強に気持ちを投入することができなかった。そんなある日、普段あまり話すことのないクラスメートの良太と学校帰りに出会い、話をしながら一緒に帰ることになった。話しているうちに話題は趣味の話になり、良太に自分の家に面白い物を見に来ないかと誘われ、行ってみることにした。

「ちよつと待ってて」

その言葉を残して良太は部屋の中に入っていった。ドアの前に一人で残されると心もとない。仕方なく廊下を見渡すと、何か入っているのか空なのかはわからないが、箱の山が目に入る。良太の言う「ストラクチャー」が入っていた箱なのだろうか。言われるままについてきていただけだったが、ちよつと興味がわいてきた。

「いいよ。入って。」

良太が部屋から顔をのぞかせていった。言われるままに部屋の中に入ってみると、普通の広さの子供部屋だった。机があつてベッドがあつて、自分の部屋とそれほど変わりがない。しかし、一点だけ目を見張るポイントがあつた。それは部屋の奥の方にある、畳一畳分ほどの大きさの箱庭だった。

「すごいね…」

見た瞬間に頭が動きを止めてしまい、これ以外の言葉が出てこなかった。それはまるで、アどこの町をそのまま小さくしたようだった。箱庭の中のサイズはとも小さく、人間は豆粒ほどの大きさで顔もよく見えない。しかし、自然と文化がとけあつた風光明媚な風景が素晴らしかった。山には青々とした葉をつけた木々が立ち並び、その下では子供達が虫採りをしている。海辺には海水浴を楽しむ家族があり、波の上では若者がサーフィンを楽しんでいる。町に目を移すと、大きなビルにはどこかで見かけたようなネオンの看板があり、往来には信号、横断歩道など細かく再現されている。町の中央には駅があり、そこには近所の線路でよく見かける電車が停まっていた。

「その電車、よく見ててね。」

そう言うと良太は箱庭の陰に隠れた。何かをこそごとやっているようだが、よくわからない。待っている、スーッと電車が動き出した。

「おお…」

思わず声が漏れた。イそのまのの様子だけでも十分にリアルさを感じていたのだが、電車が動き出すとそれはさらに高まった。町の中をゆつくりと動いていく電車は箱庭の風景に動きを与え、さっきまではただの人形だった人々が、今にも動き出しそうな錯覚に襲われる。電車は町を通り過ぎ、海辺を通り、山を通っていく。どんな人たちがこの電車に乗っているのだろうか。海水浴をする家族も、山登りをするおじいさんも、町に買い物に行くカップルも。みんながこの電車によって命を与えられたように感じられた。

「どうかな。結構面白いでしょ。」

「うん①。すごく面白いよ…。これ、どうしたの。」

「全部自分で作ったんだよ。電車とか人形とか建物とか模型店から買ってきた物もあるけど、だいたい自分で作ったんだ。海も、山も、町もね。簡単そうに見えるけど、結構時間も手間もかかるんだよ。ほら、その所なんか…。」

良太の言葉は途中から耳に入らなかった。同じ中学生の、しかも同じ学級で生活している少年にウコまで作ることができるといふことに驚いた。本人も言っているが、これだけ作るのにはどれほどの時間がかかったのだろう。自分と同じように学校へ行き、部活をやり、家に帰ると勉強をしているクラスメートがこんな物を作れるなんて、にわかには信じられない。エ見れば見るほど目も心も奪われていくようで悔しい気がしたが、それでも目が離せなかった。

「②…を貼り合わせて、ポスターカラーで色を付けて作ったんだよ。あれ、どうしたの。」

「え、ああ…。これって…、いつ作ったの。」

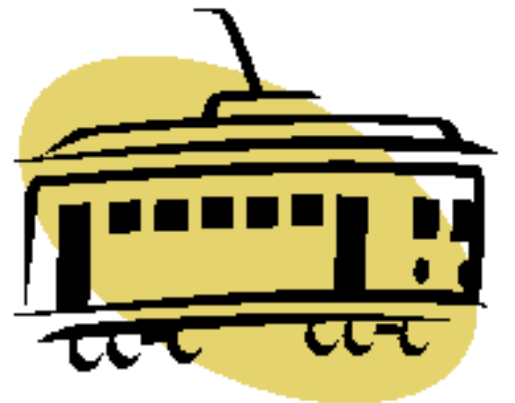
「毎日少しずつやったんだ。学校から帰って宿題やってご飯食べてお風呂入って、寝る前に少しずつね。日曜日なんかは時間がたくさんとれるけど、塗料や接着剤の乾燥に時間がかかるから、一気にたくさん進めることはできないんだ。だから少しずつね。今もまだ手を加えてるよ。浜辺に並木を立てたいし、ビルの看板を増やしたいし。」

「…。」

「僕さ、将来は町を作る仕事をしたと思うてるんだ。上手く言い表せないんだけど、今の町って、誰かには便利かもしれないけど、その分不便な思いをしている人もいるような気がするんだ。例えば、道路が整備されて車が走りやすいのは大人にとってはいいかもしれないけど、子供やお年寄りには危険が多い。そういうことのない、誰でも楽しく生活できる町を作りたい。それをするのが建築士なのか政治家なのか、それとも他にそういう仕事があるのかはまだ分かんないけどね。この町はそのための練習かな。ちっちゃい町だけど、住んでいる人の一人ひとりがどうすれば住みよい町になるかを考えながら作ってるんだ。このごろは建築の本も買って読んでたりしているよ。まだまだ分かんないことだらけだけどね。」

話を聞けば聞くほど、頭の中が真っ白になっていくような気がした。自分が家に帰ってテレビを見たりお菓子を食べたりしている間に、良太は自分の将来の夢を心に描きながらこれを作っていたのだと思うと、なぜかあせりにも似た気持ちが生まれてくるのが感じられた。自分は何をしているのだろうか、何がしたいのだろうか。自分自身に問いかけるが、答えは全く返ってこなかった。

(高橋智子「少年」より)



二年	国語	Gアップシート	読む2
----	----	---------	-----

組	番・氏名
---	------

★自分が共感できる物語を読み、感想を交流しよう

問一 和田さんは 風光明媚 の意味が分からず辞典で調べたところ、「自然の眺めが清らかで美しいこと。また、そのさま」という意味だと分かり、自分の経験の中でそのような様子を見たことがなかったか考えました。次のア～エの中で、風光明媚と表現するのに最も適切なものを一つ選びなさい。

【心情や情景を表す語句について経験を生かして理解する】

- ア 夜の町を華やかに舞い踊るさんさ踊り
- イ 晴れた空をバックに悠然とそびえ立つ岩手山
- ウ イルミネーションでライトアップされた岩手公園
- エ 昔ながらの情緒をただよわせる岩銀本店の赤レンガ

問二 箱庭の特別さを際立たせるために、対照的に描写されている物を本文中から探し、漢字二字で抜き出して書きなさい。

【描写の効果を考えて物語の内容を理解する】

問三 ①、② はそれぞれ違う意味あいを表現しています。どのような意味あいを表現しているか、最も適切なものを次のア～エから一つずつ選びなさい。

【登場人物の言動の意味を考えて物語の内容を理解する】

- ア 気持ちをこめて話していないこと。
- イ 相手を見ずに勝手に話していること。
- ウ 上の空で話が耳に入っていないこと。
- エ 衝撃を受けて言葉がでてこないこと。

①	
②	

問四 和田さんはこの文章中のある部分の描写について、次のような感想を持ちました。感想の中の「」に引用するのに最も適切な部分を、本文中の~~~~部分の ア～エ から一つ選びなさい。

【描写や比喩などの表現について具体的な部分を取り上げて考えをまとめる】

「」 「」 という比喩的な描写には、箱庭の出来映えの素晴らしさだけでなく、それを作った良太に対する主人公の思いも表現されていると思います。

- ア どこかの町をそのまま小さくしたようだった
- イ そのままの様子だけでも十分にリアルさを感じていた
- ウ ここまで作ることができるということに驚いた
- エ 見れば見るほど目も心も奪われていくようで悔しい気がした

問五 和田さんは主人公の心の変化についての意見を次のようにまとめました。空欄①には当てはまる部分を本文の地の文から探し、最初の五字（句読点含む）を抜き出して書きなさい。空欄②には後のア～エから最も適切なものを一つ選びなさい。

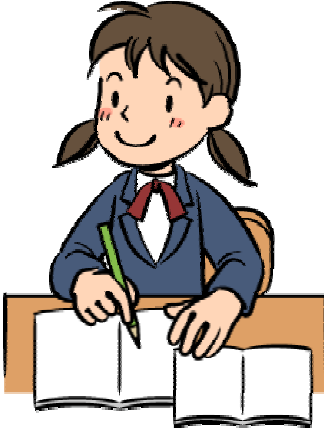
【物語の構成や展開について具体的な部分を取り上げて考えをまとめる】

この物語で主人公の気持ちは三度、大きく変わっていると思います。

一度目は「①」の部分からです。それまでの何気ない気持ちから、思いがけず素晴らしい物を見せられた感動に変わっています。

二度目は「良太の言葉は」の部分からです。箱庭の素晴らしさへの感動から、良太が作ったことを知っての驚きへ変わっています。

三度目は「話を聞けば聞くほど」の部分からです。良太が作ったことへの驚きから、②へ変わっています。



- ア 夢を持って生活している良太と自分を比べて悩む気持ち
- イ 良太に箱庭を作る時間があることを不思議に思う気持ち
- ウ 良太が胸に抱いている夢の大きさにあこがれる気持ち
- エ 良太の持つ箱庭を作る素晴らしい技術をねたむ気持ち

①	

②	

◇読み取ったことをもとに、交流のための感想を書くことにしました。

問六 和田さんは次のような自分の経験を関連させながら感想を書くことにしました。物語とこの経験を関連させるには、どのようなテーマで感想を書くのが適切でしょうか。ア～エから一つ選びなさい。

【自分の知識や経験と関連付けて感想をまとめる】

期末テスト前で、勉強しなければならないことは分かっていたが、何のために勉強するのか分からず、やる気が起きないまま時間だけが過ぎていったこと

- ア 自分が本当にしたいことが見つからない不安
- イ 心から楽しみ夢中になれる物を見つけた喜び
- ウ 努力しない自分自身のふがいなさへの悲しみ
- エ 自分だけが周りから取り残されていく寂しさ

【読む2 自分が共感できる物語を読み、感想を交流しよう】

問一 アイ	問二 部屋	問三 ①エ	問四 エ	問五 ①見た瞬間に	②ア
問六 ア					

解説

問一 意味のわからない語句について辞書で調べた時には、自分の経験の中で同じようなことがなかったか考えてみると、理解が深まります。「風光明媚」は自然の眺めについての言葉なので、人工物にはあまり用いません。

問二 文章の中で何かを特別な物として強調する時には、特別な物と対照的に描いて際立たせるといふ方法があります。この問題では箱庭を特別な物として強調するために、箱庭が置かれている部屋自体はあえて平凡な物として描かれています。

問三 「…」は無言を荒らす表現ですが、多くの場合、あえて無言であることを強調する書き手の意図が込められています。読む時には、なぜ無言なのかを考えながら読むと、深い理解につながります。

問四 比喩表現は用いることで文章表現を豊かにしますが、内容が間接的になるので、読む時にはその比喩が何を描き出しているのか考えながら読む必要があります。この問題では「箱庭のでき」「良太への思い」の両方を表現しているものを探しましょう。

問五 この物語は主人公の主観で語られているので、主人公の内面の変化で内容を分けることができます。「地の文から」という条件に合わせて段階を追って探していきます。主人公の気持ちは①興味がない②箱庭のできに驚く③箱庭を良太が作ったことに驚く④良太が夢を持って作ったことを知って自分と比べると変化しています。

問六 自分の経験と関連させる際には、どのようなテーマでどのような経験と関連させるかが大切です。その方法としては、「テーマを先に決め、そのテーマに沿った経験をいくつか書き出し、テーマを効果的に表現できそうな経験を選ぶ方法」と、「文章と関わりそうな経験を先に書き出し、テーマを後から決める方法」があります。その時の状況に合わせてよい方法を選びましょう。